

平成26年度 日南市立南郷小学校 自己評価書及び学校関係者評価書

学校経営ビジョン:豊かな心と自ら学び考える力を持ち、たくましく生きる児童の育成

【評価】 4:よい、3:だいたいよい、2:もう少し、1:よくない

教育的課題	重点指導事項	評価項目	43の割合(%)				総合(%)	考察及び改善策	学校関係者評価委員の意見
			児童	保護者	地域	学校			
確かな学力	基礎・基本的な力を習得させる。	①子どもたちに、基本的な学力(読み、書き、計算の力)が身に付いている。	87	87	93		83	③については、1時間の学習の中に「書く時間」を取り入れ、自分の考えや学習のまとめなどを書く活動を継続する。 ④については、授業で達成する目標を教師が把握し、そのために児童が調べる、話し合うことを明らかにして各段階ごとに授業を進める。 ⑤については、毎週実施しているWeb問題の結果から、補充が必要な内容を把握し、朝の時間や授業における学習に生かす。	【③に関して】 ○自分の考えを自分の言葉で表現できない、またはしようしない児童生徒が増えてきているのではないか。 ○自分の意見をはっきり伝えることができるようになってほしい。 ○単語で済ませる傾向が見られる。 ○文章で表現することは大切である。書く指導を今後も重要視してほしい。 【④に関して】 ○子どもたちが話し合いながら、つくっていく授業が見られるようになった。 ○子どもたちに話し合いに慣れさせる指導も大切ではないだろうか。
		②子どもたちは、学用品を適切に使用し、望ましい態度で授業にのぞんでいる。	91	89	85				
	考える力や表現する力を育てる。	③子どもたちは、自分の考えを文章で表現することができる。	83	62	60				
		④先生は、子どもが自分の考えを基に話し合っ解決する学習指導を行っている。	87	93	67				
	児童が目標を持ち自ら学習する意欲を育てる。	⑤まとめのテストやWeb調査において達成率が不十分な内容を次の学習に生かす。				73			
		⑥教室は、子どもが学習しやすい環境が整えられている。		96	93				
豊かな心	校内外における基本的な生活習慣を育てる。	⑦子どもたちは、家庭や地域でも進んであいさつをしている。	88	82	69	99	85	⑦については、校内における挨拶は向上してきているので、それをほめるとともに、地域の方との交流の中で挨拶の実践を推奨する。 ⑪については、道徳の計画を具体的に作成し、各教科などに関連を図りながら進める。 ⑫については、学級内の話し合い、遊び、清掃などを通して、人の良さに目を向ける指導を継続する。	【⑦に関して】 ○校内のあいさつ、登校時のあいさつは、良くなってきている。 ○今後もあいさつ指導の内容を工夫していく必要がある。 ○現状として、知らない人に声をかけにくい状況がある。 【⑫に関して】 ○善い行いを行っている児童もいるので、それを自覚させ、自信をもたせる指導も必要ではないだろうか。 ○自尊感情を高めることが、更なる善行につながっていくと考える。
		⑧子どもたちは、きまりを守り、時と場に応じた行動をしている。	93	90	80	94			
	児童を理解し、一人一人を大切に育てる。	⑨ハートフル委員会等で児童理解に努め、生徒指導に関する共通実践に生かす。				81			
		⑩先生は、子ども一人一人を大切に、子どもに関する相談に適切に応じている。		92	87				
	命や人権を大切に育てる豊かな心を育てる。	⑪補充、深化、統合の視点から道徳の時間の工夫を行う。				60			
		⑫子どもたちは、友だちやまわりの人に思いやりのある行動をしている。	70	86	92	100			
自立の態度	自他の命を守り、健康な体を育む意識を育てる。	⑬子どもたちに、自分の身を守るための判断力や行動の仕方が身に付いている。	95	79	67	88	88	⑬については、危険を感じ、察する力を育てるために、学級における指導や集会における全体指導で、写真を見せながら具体的に考えさせる指導を工夫する。また、避難訓練においても、指示に従うことと自分で考えることを事前に指導しておき、実際の訓練に生かす。	【⑬に関して】 ○避難訓練は、行動の仕方が身に付いており、速い避難ができています。 ○今後は、自分で考え、行動できるようにしていく必要がある。 ○日常から、どのような危険があるのかを考え、判断することを積み重ねていくと良いのではないかと。 ○道路横断等の現状から、周囲の評価が低くなっているとも考えられる。
		⑭学校は、子どもの健康安全に配慮し、保健や給食の面で適切に対応している。	86	96	82	100			
	生活に適した環境を整える態度を育てる	⑮校内は、生活する場としてふさわしい環境美化がなされている。	81	94	88	94			
	体力の向上に努める態度を育てる	⑯学校は、子どもの体力を高める取組に努めている。	91	93	80	87			
家庭・地域との連携	家庭と協力して教育活動を推進する。	⑰学校は、参観日や懇談会を魅力あるものにするように努めている。		87	80	94	88	⑰については、懇談率が低いので、懇談の内容や進め方など、保護者の興味を考慮しながら工夫する。 ⑱については、子どもが地域から学ぶ、講師の方から学ぶということを意図的に進めていく。	○高齢者とのふれあい活動を今後も大事にしてほしい。高齢者は、そのような機会を楽しみにしている。 ○地域のボランティア団体との連携も活発にしてほしい。 ○子どもが地域の行事に参加する手立てを考えていく必要がある。
	地域の教育力を生かし、特色ある学校づくりを行う。	⑱学校は、地域及び外部の方の協力を得ながら教育活動の充実を図っている。	95	91	88	83			